

食品残さから製造した堆肥でリサイクルループを形成 (株式会社 遊楽ファーム)

＜法人の概要＞

所在地：千葉県白井市

設 立：平成10年11月

資本金：300万円 売上高：2,068万円（平成27年）

構成員（議決権）：農業従事者2名（90%）、(株)フジコー（10%）

従業員数：常時雇用者5～6名、臨時雇用者10名

経営面積：4.4ha（うち所有0.2ha、借入4.2ha）

作付作物：たまねぎ2.7ha、じゃがいも0.3ha、かぼちゃ0.3ha、梨0.2ha、
ぶどう0.2ha、柿0.7ha



ほ場（たまねぎ）



収穫作業

＜営農を開始するまでの状況＞

- ・ (株)遊楽ファームは、平成11年10月、食品残さを原材料として堆肥製造を行うようになった(株)フジコー（本社東京）が母体となって、定年退職者の農業従事への参加、耕作放棄地の活用を考えて設立された。
- ・ 設立当初から農業生産法人（現在は認定農業者）として営農しており、農業に携わりたいという地域の中高年（定年退職者が中心）の意欲と能力を生かしつつ、増加傾向にあった遊休農地を有効利用し元農家から栽培ノウハウを学びながらタマネギをメインとした生産を継続してきた。

<特徴的な取組>

- ・ まず、百貨店や地元スーパーから出る食品残さを(株)フジコーが堆肥化し、その堆肥を(株)遊楽ファームのほ場に投入し、そこで生産されたタマネギを百貨店や地元スーパーで販売するシステム（リサイクルループ）を確立している。
- ・ メインに生産しているタマネギは、設立当初は苗を購入して定植していたが、平成21年度に県や市の事業を活用してタマネギ栽培用機械を購入し、作業効率が向上したことをきっかけとして、23年7月からは苗ではなく、種から栽培するようになり、昨年6月には収穫するまでに至った。

<今後の農業経営の展開方向>

- ・ 消費者とのつながりを深める一環として、今後、タマネギの掘り取り体験にもチャレンジしてみたいと考えている。
- ・ 安定的な農業経営を進めるため、市や農業委員会との連携を図り、農地の確保を図りたい。さらに、生産効率や作業効率が高く、しかも消費者ニーズに合った作物を検討している。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

- ・ 新たに農業に参入する際にたちはだかる土地の確保や栽培技術の取得、あるいは販路の確保などの大きな壁を克服するためには、農業委員会や市役所などの行政からのサポートあるいは連携が不可欠である。特に農業委員会との連携を図ることが重要である。



種まきからの育苗中の苗床



機械による植え付け作業